

小児炎症性腸疾患患者の消化器内科・外科への移行支援

患者氏名	様				
目安となる年齢	10～13歳	13～15・16歳	15～16歳	16～18歳	「準備が整った」年齢
患者の年齢					
患者の目標	消化管の構造と食物の消化や吸収について理解する。 自分の身長・体重を知っている。 自分の病名が言え、疾病のおおまかな概念を理解する。 薬物などの治療を理解し、かつ責任を取ることを学ぶ。 将来の消化器内科への移行を認識する。	外来診療を一人で受ける(保護者は後で診療に加わる)。 自分の症状・治療に関する質問に答えられる。 服用している薬の名前とその作用を知っている。	連携する必要があるスタッフを確認する。 炎症性腸疾患やその治療法の理論的根拠を理解する。 発熱、腹痛、下痢、血便など悪化のサインを認識し、対処する。 医療職へ援助を求める方法を知っている。 公費助成などのシステムを理解できる。 成人科移行プログラムの詳しい説明が行われる。 成人科初診の準備が完了する時期を認識する。	準備状況の評価を受けた後、成人科を一度受診する。 その初診に続き、肯定的、否定的感情について意見を言う。 パートナーとの関係や妊娠・出産の問題、性問題や悩みについて相談できる。	受診は小児科・小児外科、および成人科の両方へ。 施設のパンフレットが提供される(担当成人科医と電話番号、地図)。 消化器内科・外科への質問や心配事の相談のため、成人科に行く。
家族の目標	消化管の構造と食物の消化や吸収について教える。 炎症性腸疾患やその治療法の理論的根拠を理解する。 薬物などの治療を理解する。 公費助成などのシステムを理解できる。 医療職へ援助を求める方法を知っている。 将来の消化器内科への移行を認識する。	患者が外来診療を一人で受け、保護者は後で診療に加わる。 患者の言動を見守る姿勢をとる。 医療費の経済支援、公的支援や医療保険についての情報収集をする。 過保護・親子密着に注意を払う。	連携する必要があるスタッフを確認する。 消化器内科・外科初診の準備が完了する時期を認識する。 炎症性腸疾患についての認識や知識を子どもに確認する。 子どもが病状、治療、健康についての記録を付けるよう手助けする。 過保護・親子密着に注意を払う。	準備状況の評価を受けた後、成人科を一度受診する。 その初診に続き、肯定的、否定的感情について意見を言う。 パートナーとの関係や妊娠・出産の問題、性問題や悩みについて協議できる。	受診は小児科・小児外科、および成人科の両方へ。 消化器内科・外科への質問や心配事の相談のため、成人科に行く。
小児科医の対応	消化管の構造と食物の消化や吸収について患者と保護者に説明する。 炎症性腸疾患の疾患概念を患者と保護者に説明する。 薬物などの治療を説明し、かつ患者本人が責任を取ることを学ばせる。 将来の消化器内科への移行について、患者と保護者に認識させる。 患者会や家族会などを紹介する。	患者が外来診療を一人で受け、保護者は後で診療に加わるよう促す。 不安・恐怖、情緒的不安定に注意し、コメディカルスタッフと相談しつつ対応する。	連携する必要があるスタッフを確認する。 患者に炎症性腸疾患やその治療法の理論的根拠を説明する。 患者に公費助成などのシステムを説明する。 患者に発熱、腹痛、下痢、血便など悪化時の対処を説明する。 医療職へ援助を求める方法を説明する。 成人科移行プログラムの詳しい説明を患者と保護者に行う。 不安・恐怖、情緒的不安定に注意しコメディカルスタッフと相談しつつ対応する。 成人科初診の準備が完了する時期を患者・家族が認識する。	小児医療チームで移行の準備状況のカンファレンスを行う。 移行サマリーと紹介状を準備する。 その後、成人科を一度受診していただく。 その初診の後、患者や保護者から肯定的・否定的感情を傾聴し対処する。 喫煙、飲食、薬物乱用について教育をする。 パートナーとの関係や妊娠・出産の問題、性問題や悩みについて教育する、あるいは相談に乗る。	受診は小児科・小児外科、および成人科の両方へ。 消化器内科・外科への質問や心配事の相談のため、成人科を受診させる。 施設のパンフレットを提供する(担当成人科医と電話番号、地図)。
消化器内科・外科の対応				小児科・小児外科からの紹介を受けて患者に一度受診していただく。 その初診のあと、小児科・小児外科と何度か併診を行う。 これまでの成長発達や家族との関わりについて十分配慮する。	受診は小児科・小児外科、および成人科の両方へ。 消化器内科・外科への質問や心配事の相談のため、受診していただく。 施設のパンフレットを提供する(担当医と電話番号、地図)。
看護師の対応	患者会や家族会などを紹介する。	必要な医療器具・機器(経管栄養、在宅注射など)についてケアを行う。	不安・恐怖、情緒的不安定に注意し、コメディカルスタッフと相談しつつ対応する。	パートナーとの関係や妊娠・出産の問題、性問題や悩みについて相談に乗る。	
薬剤師の対応	薬剤情報提供を保護者と本人に行う。	薬剤情報提供を保護者と本人に行う。 患者の服薬の自己管理を促す。		服薬や注射薬に対する問題や不安に対応する。	
栄養士の対応	栄養食事指導を患者と保護者に行う。	栄養食事指導を患者と保護者に行う。	栄養食事指導を患者本人のみに行う。	栄養食事面での問題や不安に対応する。	
心理士の対応	心理的逸脱がおきないように予防する。	不安・恐怖、情緒的不安定に注意しコメディカルスタッフと相談しつつ対応する。	不安・恐怖、情緒的不安定に注意しコメディカルスタッフと相談しつつ対応する。	パートナーとの関係や妊娠・出産の問題、性問題や悩みについて相談に乗る。	
MSWの対応		医療費の経済支援、公的支		移行先候補の消化器内科・外科を複数ピックアップして情報収集し、提供する。	成人科と医療連携を取る。
教育機関との連携	病状に見合った学校教育を維持する。 不登校の予防をする。	病状に見合った学校教育を維持する。 不登校の予防をする。	病状に見合った学校教育・社会生活を維持する。 高校中退の予防をする。	病状に見合った学校教育・社会生活を維持する。 高校中退の予防をする。	
事務方の対応		医療費の経済支援、公的支援や医療保険についての情報提供をする。		医療費の経済支援、公的支援や医療保険についての情報提供をする。	